

かわにし

元旦卓球で



おめでとう!

特集 真剣に考えよう合併について…2

おらムラの話…13

まちの話題…14

お寄せください あなたの意見・提案・質問…17

人口の動き

—1月1日現在—

男 4,016 (-6)

女 4,112 (-1)

計 8,128 (-7)

世帯数 2,277 (±0)

() は前月比較

真剣に考えよう合併についてその十五

市町村合併に関する動きが、新しい局面を迎えようとしています。合併任意協議会設立の動きや、これに参加するかどうかにあつての調整が進むと同時に、各市町村の住民レベルでの勉強会が開催されています。川西町でも、住民懇談会やアンケート調査、はがきなどを通してさまざまな質問や意見交換が活発に行われています。

合併に対する期待や不安、将来見通しや枠組みなどへの疑問は、今のうちに明らかにしておく必要があります。みんなで考えましょう。

町では関係市町村で構成される合併任意協議会に参加し、合併についての詳しい話し合いのテーブルにつきたいと考えています。この協議会の設立時期については、住民懇談会や前月号などで十二月二十五日とお知らせしていましたが、一か月ほど遅れ、今月下旬に設立する予定となりました。

住民懇談会の様子

〈第三編〉

今月号では十一月十日から二十六日まで、十四会場での質疑応答の内容を掲載いたします。なお、それぞれの会場で同じご意見やご質問が出されたものは先に開催した会場分を掲載し、後のものは割愛してあります。

このため、後半の会場での掲載数が少なくなっていますが、どの会場でも活発なご意見をいただいております。

懇談での質疑応答

■川西町総合センター（千手）

千手地区にも振興会的組織を

質問（男性） 十年後や二十年後の川西町を想像すると、私は合併に賛成ですが、千手地区には地区を統括する組織がありませんので、そのような組織設立のために、行政からも協力していただきたいと思っています。

田口町長 ご指摘のあったとおり、千手地区には住民の意見を



11 / 10 (日) 川西町総合センター

集約する振興会的な組織がありませんので、上野、橘及び仙田地区のような組織の設立を

いしたいと考えています。

質問（男性） 津南町と長野県栄村との合併のことが、新聞で報道されていますが、実際のところは、どうですか。

田口町長 津南町の動向は、新聞に掲載されていること以上は、分からないのが実情です。

新市は新しい名称で！

質問（男性） 合併の形態は「対等合併」とし、新市の名称は「十日町市」という名称は使えないで、六市町村にふさわしい名称を考えてほしいと思います。

田口町長 十日町市長は「十日町市」という名称にこだわらないと新聞等で表明していますし、私も新しい市になるのであれば、新しい名称でいくべきだと思います。「十日町市」という名称にこだわった場合は、合併の大きな障害になると思います。

■高齢者コミュニティセンター（橘）

合併は決まったの？ まだ決定ではありません

質問（男性） 町長はすでに合併を決めて、この住民懇談会を開催しているという意見もあり

ますがどうですか。

田口町長 合併を最終的に決断しての住民懇談会ではありません。合併ができるかどうか検討するための『合併任意協議会』へ参加することについて、住民の皆様からご理解をいただくために、この住民懇談会を開催しています。最終判断は合併法定協議会へ移行する時点で、住民と議会及び行政で決断することになります。決断する判断材料を得るために合併任意協議会へ参加させていただきたいと思

質問（男性） 他の市町村が川西町だけ除くようなことがあつ



11 / 10 (日) 高齢者コミュニティセンター

たらどうしますか。

田口町長 川西町が単独で残されることはないと思いますし、なることも今のところ考えていません。

質問（男性） 飛び越えて大きな市と合併することも可能ですが、

担当職員 飛び地は可能と思いますが、相手が受け入れてくれるかという問題があります。

質問（男性） 木落から妻有大橋までの道路が整備されると便利になると思いますがどうですか。

田口町長 木落から妻有大橋の道路については協議を始め、JR側に概算設計をお願いしています。このような地域間を連絡する道路事業は、合併をした方が予算が付けやすく、やりやすい事業になると思います。

質問（男性） 合併して町の名称が変わった場合に、登記簿の所有者の住所も変更になりますか。

押木助役 戸籍や住民票は職権で修正されますが、登記簿の所有者住所については、後日確認させていただきます。

（後日法務局に確認 表示部分及び所有者住所については「読み替え規定」があり、個人が修正する必要はありません。）

合併の最終決定は議会で！

質問（男性） パイプライン事業などは、同意率が何十パーセント以上でない事業着手できませんが、合併もそのような同意率がありますか。それとも役場で決めるのですか。

田口町長 合併の最終判断は、住民代表の議員による議会の議決で決することになります。

質問（男性） 住民と議会との考え方が違って、住民の意向が反映されていない市町村も見受けられますが、川西町でも町民が反対であっても、議会が賛成すれば合併することになりますか。

田口町長 川西町の議員も今回の住民懇談会に参加され、その他のところでも十分に住民の皆様の意向を感じ取れると思いますので、住民とかけ離れた判断にはならないと思います。

■室島集落センター（仙田）

質問（男性） 人件費はただ減らせば良いということではないと思います。人件費の減額分を他の分野へ配分したとしても、行政サービスが末端まで行き届かなくなれば、デメリットになるのではないのでしょうか。

田口町長 合併した効果として



11 / 11 (月) 室島集落センター

すぐに表れるのが、行政コストの削減と人間が減ることです。合併するだけでバラ色ということとは決してありませんが、合併しないより良かったと思えるよう取り組まなければいけません。住民が力を合わせ、声をひとつにして、自分の地域は自分で守るという考えのもと、住民と行政の役割分担をした提言、要望及び意見をお寄せいただきたいと思います。

質問（男性） 今日の懇談会で合併は避けて通れないものと思いましたが、説明の中で除雪路線の一〇パーセント縮小というこ

とが心配になりました。どのような所が縮小されるのですか。

担当職員 町の財政が厳しくなると、そのようなサービスも落とさざるを得ない可能性があると例え、今すぐにするということではありません。

質問（男性） 合併すると中仙田と室島間の残された六〇〇メートルの国道改良が遅れるという心配があります。

田口町長 残された六〇〇メートルは重点要望か所としてお願いを継続していますし、住民の皆様からの要望もあつたということで、更に強く要望していきたいと思います。

■中屋敷集落開発センター（千手）

質問（男性） 六市町村とも借金が多いようですが、合併すれば精算されるのですか。

田口町長 借金については、借りた分は新しい市で返済していきます。

合併の優遇事業って？

質問（男性） 合併に対しての優遇事業はどのような事業、予算規模になりますか。

田口町長 合併特例債という有利な借金をして、新市のまちづくりのための事業を実施できます。この合併特例債は六市町村

全体に配分され、約三三六億円の借入限度となっていて、使途については、新市の建設計画で検討します。

川西町の場合は、下水道をはじめとする公共投資が、ほぼ完了していることから、新しい分野への投資に合併特例債を充てられるよう要望していきたいと考えています。

しかし、合併特例債は借入分の三割は町で返済金を用意することになりますので、現時点での各市町村の借入状況や後年度での返済を考慮すると、借入限度額の満額を借りることはできないと思います。



11 / 12 (火) 中屋敷集落開発センター

質問（男性） 全額いただける交付金などはないのですか。

担当職員 六市町村で合併した場合、五年間で約四七億円を直接いただけますが、電算システムの統一や、合併のための必要経費として使うことになりません。

質問（男性） 住民懇談会では合併の良い面のみを説明しているように思いますが、悪い面も説明していただき、住民に判断材料を与えてください。

田口町長 合併の悪い面（デメリット）については、合併任意協議会に参加し、合併について調査・研究することによって、具体的な判断材料（良い面、悪い面）を住民の皆様へお知らせできます。今回の住民懇談会では、合併に対する不安事項を広くお聞きし、そのことを川西町の課題として合併任意協議会で協議していきたいと思います。

■新町新田ふれあいセンター（上野）
意見（男性） 私は、財政面、福祉面及び税金などで、合併するとマイナス面もあると思いますが、総体的なことを考えれば個人的には合併に賛成です。

■東善寺四郎兼集落センター（千手）
意見（男性） 分かりやすい説明でよかったと思います。



11 / 13 (水) 新町新田ふれあいセンター

■野口集落開発センター（橋）

質問（男性） 合併により行政サービスが向上するという説明がありましたが、職員と議員の人数が減っても、今までの行政サービスを維持できるか不安に思っています。

田口町長 行政サービスの仕組みが変わってきます。例えば、高速情報ネットワークの整備が実現されると、地区の郵便局で住民票などが交付されるなど、質の変わったサービスになると思っています。

自分の考えをハッキリ
言える教育を！

質問（男性） 他市町村と比較すると、川西町の住民性は「おとなしい」という面があると思います。大勢の前で自分の考えをハッキリと発言できたり、将来の方向性を自分で決めることができるような子どもを育成し、合併後にこの地域で生きていく子どもたちが、他市町村の子どもたちに負けないような教育に取り組んでほしいと思います。

田口町長 自主性のある積極的な人材を育成するためには、大勢の中での教育体制が良いと思いますが、少数での教育体制も良い面があります。どちらの教育環境でも一長一短ありますので難しい問題だと思えます。

質問（男性） 合併任意協議会では、川西町がイニシアティブ（主導権）を取って、夢の持てる地域づくりを考えてほしいと思います。

田口町長 合併しても居住地は今の場所で変わりませんので、周辺部の地域が元気になることが大切です。ここに住んでいる限りは、様々な工夫や共に汗をかき、一緒になって自らが地域づくりをする気構えが必要であると考えています。

土地改良事業の負担金は？



11 / 15 (金) 野口集落開発センター

質問（男性） 土地改良事業の負担金については、各市町村で負担割合が異なっています。一本化する川西町としては不利になると思いますが、現状の負担割合を維持できないでしょうか。

田口町長 負担は少ない方へ、サービスは高い方に調整したいと思いますが、合併任意協議会へ参加して協議を進めないと答えられない問題です。ただし、現在負担率を決定して事業着手しているものは、合併してもその率を変えないようにしなければなりません。

質問（男性） 合併は住民の盛り上がりも必要だと思いますので、懇談会はこれで終わりではなく、今後も機会を捉えて住民の関心を高める対策をお願いいたします。

田口町長 合併に対して他市町村と詳細なすり合わせを実施していませんので、住民の皆様へ具体的な判断材料を示すことができないのが実情です。約一年後にはある程度のすり合わせの結果が出ると思いますので、それをもとに最終判断をする時点で、再度懇談会を開催してご理解をいただきたいと思います。

■岩瀬集落センター（仙田）

質問（男性） 新市の市会議員を選出する際に、小選挙区制を導入して川西町から選出される議員の数を確保してはどうですか。

田口町長 合併任意協議会での議題にしたいと思いますが、現時点では明言できません。

質問（男性） 今月実施するアンケートで五〇パーセントを割ったら、合併任意協議会に参加しないのですか。

田口町長 合併する場合のすり合わせ作業は、大変重要なことですので、加入について低率であっても加入させていただきたいと思えます。

質問（男性） 住民投票をする

考えはありますか。

田口町長 住民投票を実施するためには、判断する内容を正確にお伝えし、住民の皆様が十分理解をしたうえでないと実施できないと思いますので、現段階では予定しておりません。



11 / 20 (水) 岩瀬集落センター

川西町は自立できないか？

質問 (男性) 現在の職員を三割四割くらい減らしても川西町として自立できませんか。

田口町長 住民のニーズが多様化しており、今後ますます様々な対応が求められております。三割も減らすと行政サービスの低下や役場業務の停滞を招く

と思います。

質問 (男性) 現状の財政を更に縮減しても自立していけませんか。

田口町長 しばらくの間は、単独でいけるとは思いますが、行き詰ってからの合併では、吸収(編入)合併になり、住民の皆様には不利だと思います。合併するのであれば、優遇措置を受けられる合併期限までに合併した方が得策であると思います。

子どもが親の面倒をみる仕組みづくり

質問 (男性) 六市町村を見ても子どもが残っている世帯が少ないのではないのでしょうか。子どもが親の面倒を見るような仕組みづくりを考えられないでしょうか。子供が地域に残るためには高校を卒業した後に、進学・就職する場が必要ですが、この地域にそのような施設を整備したらどうでしょうか。

田口町長 子どもが親の面倒を見ることは家族のあり方として大切なことであり、産業育成には道路の整備が必要不可欠であると思います。また、情報化社会を迎え、企業誘致を行うためにも、情報基盤の整備が欠かせない施策のひとつになってきました。

■沖立集落センター(千手)

質問 (男性) 長野県栄村の合併についての記事を読んだ際、「国が憲法違反をしているのではないか」という掲載がありましたか、どういうことなのですか。

田口町長 憲法に抵触する可能性があるとすれば、人口一万人未満の小規模な町村は、今後窓口業務程度しか権限を与えないという、地方自治権に関する部分であると思います。この部分に、もし触れるようなことがあれば、関係する法律の改正もあるかもしれません。

「魚沼」を超える名称を

質問 (男性) 北魚沼地域では新市の名称に「魚沼」を採用しようとしています。川西町でも使っていた「魚沼」が北魚沼地域に限定される不安がありますので、使わないような申し入れができますか。もしできないようであれば、「魚沼」を超える名称を考えてください。

田口町長 私も北魚沼地域の名称がどうなるか興味をもっていますが、川西町として合併任意協議会に参加していない段階での申し入れは難しいと思います。市の名称については、早いも

の勝ちという面もありますので、「魚沼」の名称が使われた場合には、負けない名称を住民の皆様とともに考えたいと思います。



11 / 21 (木) 沖立集落センター

質問 (男性) 新聞報道で魚沼地区に大きな病院が建設され、十日町病院が移転するという記事がありました。この問題も合併と関係がありますか。

田口町長 県では病院の再編成を行い、救急救命センターを県下五か所に建設する計画を進め、それを基本としながら、各地域の病院を一次から三次医療体制として整備する考えを持っています。現在この地域には小

出町、六日町、十日町市及び松代町に県立病院があります。しかし、このままの体制だと、医療設備の充実に支障をきたしますので、県は病院を整理しながら充実を図っていきたいようですが、具体的な内容は決まっていないようです。十日町病院については設備を整え、広い駐車場を確保できる場所へ移設するよう要望をしています。この問題は合併論議とは別のものです。

■川辺集落センター(上野)

質問 (男性) 南・北魚沼地域に産業が発達したのは、中魚沼十日町地域の道路整備が遅れたことが原因だと思いますので、六市町村での道路計画に、川西町の道路整備計画を組み込むようビジョンを持って取り組んでほしいと思います。

田口町長 本格的な協議はこれからになりますが、各市町村それぞれで企業誘致を図っても成果が上がらないと思います。このような時こそ、全体で一つになって、地域の整備や道路網を作り上げることが大切であると思います。指摘のとおり産業振興には道路網の整備が大切であると思っていますので、上越魚沼地域振興快速道路の一日も早い着工と開通をまず進めなければならぬと思っています。



11 / 22 (金) 川辺集落センター

未納者を増やさないで

質問 (男性) 行政が広くなる
と目が届きにくくなると思いま
すが、国民年金の掛金を滞納し
ていたため、年金を貰えないこ
とを例えたテレビ番組がありま
した。高齢になった時に、小額
でも収入のある場合と、まった
く収入がない場合とでは、生活
する上でも大きな違いがです
ので、将来の社会保障を受けら
れなくなるような未納者を増や
さないでほしいです。



11 / 24 (日) 上野地区コミュニティセンター

いのは、隣近所の助け合いや、
情報も伝達しやすいという要因
もあると思います。
大きくなればなるほど、しつ
かりと対応しなければならい問
題であると思います。

上野地区コミュニティセンター(上野)

質問 (男性) 資料の中に地域
コミュニティの振興ということ
が各所で述べられていますが、
地域要望などを市役所へ伝達す
るためにも大切だと思えます。
今後各地区の振興会が、どのよ
うな考え方を持って組織活動を
展開していくか、合併する前に
確実なものにしてほしいです。

田口町長 地区振興会やコミュニ

ニティ活動の強化を図ることは
大切なことです。既存の振興会
組織を更に制度化するよう取り
組んでいきたいと思えます。

川西町克雪管理センター(仙田)

質問 (男性) 都会から川西町
に引越してきましたが、川西
町は都会では考えられない、高
齢化に対する福祉サービスが実
施され感心しています。しかし
高齢者に対するサービスはお金
が出るだけなので、元気なお年
寄りをうまく活用するようにし
てはどうでしょうか。お年寄り
の技術や経験と、若者の情報力
や新しい考え方をミックスす
るような組織づくりが考えられ
ませんか。

田口町長 合併する、しないに

関わらず、地域づくりは自らが
行わなければならないと思いま
す。ご指摘のように、ともする
とお年寄りのご苦労様でしたと
いう形で位置付けているような
面もあるのではないかと思いま
すし、これは大きな間違いだと思
います。合併とは別に、まち
づくりにはそのようなことを活か
していきたいと思えます。

橘地区農事研修センター(橘)

質問 (男性) 中心地だけ栄え
るといふ心配について、川西町
が誕生した時点では支所機能が

充実していましたが、現在は支
所がありません。千手地区では
賑わい空間の整備が進んでいま
すが、橘地区にはなかなか公共
投資がされていないのが実態で
す。合併しても十日町市に色々
な施設が持っていけるのでは
ないでしょうか。

田口町長 公共投資が遅くなっ

たという考えでいる必要はない
と思います。橘地区は今まで何
も施設ができなかったことで、
他に無いすばらしいものが残っ
ていると考えています。何もな
いことで、既成概念にとらわれ
ずに、本当に必要なものを整備
できる環境にあることは、他地
区にない魅力のひとつではない
でしょうか。

町行造林事業の資産 配分は?

質問 (男性) 町行造林事業に

ついて、伐採期に入った場合に
資産配分は六市町村で分けるこ
とになりますか。

田口町長 地主の皆様へは、契

約したものはお支払いいたしま
す。川西町分の資産は、川西町
の整備に充てるようにしたいと思
います。

質問 (男性) 三箇地区の世帯

数が減少し、これ以上減少する
と集落の維持も大変になると思

います。主要地方道の改修を急
ぎ、過疎化を食い止めてほしい
と思えます。

田口町長 県にもお願いをして

いますが、アクセス道の整備と
いうことで、合併の条件に入れ
ていきたいと思えます。

質問 (男性) 合併任意協議会

に参加して、協議の内容をわか
りやすく町民に伝え、更なる検
討をお願いします。

田口町長 合併任意協議会には

行政だけでなく、一般の住民の
方も入って、これからの将来ビ
ジョンを考えます。その内容に
ついては広報紙を活用して情報
をお知らせします。

質問 (男性) 十日町市の市議

会に不信感を抱いています。が、
合併しても十日町市の議員が多
数を占めると思われますので、
市民の声に耳を傾けた活動をし
ていただけるか心配です。

田口町長 六市町村が合併する

と人口では十日町市が約六割、
川西町は約一割です。議員数に
すると川西町から選出される議
員は三人程度ですので、目が届
きにくくなるのが予想されま
す。しばらくの間は、小選挙区
的なものが考えられないかと思
っています。

質問 (男性) 市町村合併は行

政の効率化を狙いとしており、
時代の波でやむを得ないと思

ます。中心部が栄えて、周辺部が寂れることを一番心配しています。資料にある周辺地域に重点投資が重要であると思います。

田口町長 周辺が寂れて、中心だけ良くなつては、良い合併であつたとは言えないと思います。

各地域に重点投資をする際に、その地域にとって何が良いかということが重要になると思います。

■川西町白倉活性化施設(仙田)

質問(男性) 合併すると人口規模の大きいところは事業が着手されやすいと思いますが、この地域で大切な国道四〇三号の改良については、進捗が難しくなると思います。全線開通することにより、国道機能が發揮されると思いますので、大倉のトンネルと白倉の橋を早く建設していただきたいと思います。

田口町長 豪雪地帯では特に道路整備が大切であると考えています。国道四〇三号についても、将来計画の中に入れていきたいと思えますし、国道四〇三号を上越魚沼地域振興快速道路に接続し、インターを設置したいという考えを持っています。

◆貴重なご意見をありがとうございました。



こぢり合併任意協議会

合併任意協議会の設立が延期
昨年十二月二十五日に設立の予定でした『合併任意協議会』が、一か月遅れ、今月下旬に設立することになりました。

これは、津南町の住民アンケート調査の集計が今月までかかることになったためです。

合併任意協議会設立準備会
(会長・山本中里村長)では、六市町村がそろって合併任意協議会を発足することを目標にしていることから、設立の時期を遅らせました。

引越しました

合併任意協議会設立準備会の事務局は中里村役場内に設置されていましたが、先月二十六日に、十日町市の旧十日町織物会館の一室に移動しました。

職員を増強しました

合併任意協議会の発足後の事務処理をスムーズに行うため、一月一日付けで、各市町村から一人ずつを更に派遣し、各市町村二人ずつの体制になりました。川西町では、昨年十一月に渡辺正彦さん、今月六日からは蔵品泰治さんが、合併任意協議会設立準備会事務局に派遣されています。

会議あれこれ

▼十二月十三日(中里村)
合併任意協議会設立準備会(会長・山本中里村長)で、助役・担当課長の会議を開催し、事務局体制や事務事業調整項目の調査方法などを検討しました。

かわにし合併物語

住民意識調査(アンケート)の結果

合併関係市町村が新しいまちづくりを話し合い、合併の最終判断をするための検討材料を得るために、合併任意協議会に参加することの賛否について、昨年十一月の下旬に七〇〇人の方に調査票(アンケート用紙)を送りし、住民の皆様のお気持ち伺いました。このほど、調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

なお、調査にご協力をいただき、貴重なご意見をお寄せいただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。

◆調査結果

合併任意協議会への参加の賛否など六項目についてお伺いしましたが、そのうちの四項目の結果について今回お知らせしません。

なお、残りの二項目(問五・市町村合併に対する疑問や不安、問六・新市のまちづくりへの提案)については二月号に掲載します。

職員説明会を開催

合併任意協議会に参加すると

事務事業の調整作業が開始されます。これは六市町村ごとに異なっている住民負担や行政サービスの統一化を図るために、各市町村の担当者が集まって、事務事業のすり合わせを行います。

十二月二十五日に総合センターで、その作業方法やスケジュールについて、合併任意協議会設立準備会事務局の職員から説明を受けました。

現時点では調整項目が約八九〇項目に分類されており、今後の調整作業で更に細分化され、項目数も増加していくと思われます。



次ページにアンケート調査結果があります。

市町村合併に関する住民意識調査 [最終結果]

1 調査の方法

- (1) 調査区域 川西町全域
- (2) 調査対象 川西町民で満20歳以上の(平成14年11月14日現在)個人
- (3) 抽出人数 700人(調査対象者6,518人の10.7%、住民基本台帳人口8,140人の8.6%)
- (4) 抽出方法 層化無作為抽出(旧町村・性別で満20歳以上の各年代の10.7%を無作為抽出)
- (5) 調査期間 平成14年11月20日から平成14年12月3日まで(14日間)
- (6) 有効到着分 平成14年12月10日到着分までを有効とした
- (7) 調査方法 郵送による配布・回収(一部は持参による回収)

2 回収状況

(1) 地区別 配布・回答状況

	千手地区	上野地区	橘地区	仙田地区	未回答	計
配布数	318	138	149	95		700
構成比	45.4%	19.7%	21.3%	13.6%		100.0%
回収数	121	60	56	36	1	274
回収率	38.1%	43.5%	37.6%	37.9%		39.1%

(2) 性別 配布・回答状況

	女性	男性	未回答	計
配布数	353	347		700
構成比	50.4%	49.6%		100.0%
回収数	130	141	3	274
回収率	36.8%	40.6%		39.1%

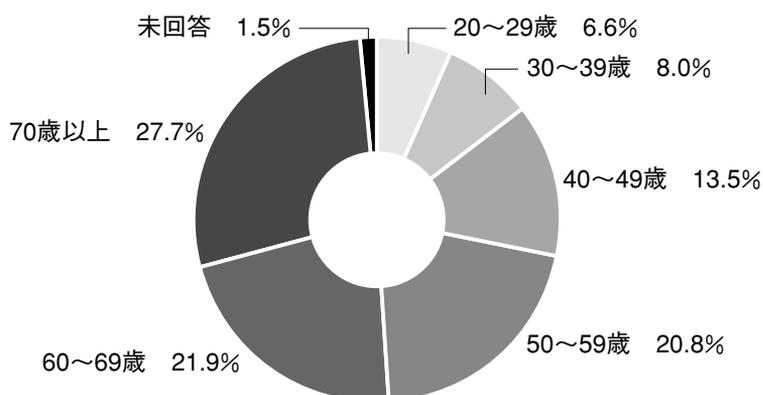
(3) 年代別 配布・回答状況

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	未回答	計
配布数	82	83	102	133	122	178		700
構成比	11.7%	11.9%	14.6%	19.0%	17.4%	25.4%		100.0%
回収数	18	22	37	57	60	76	4	274
回収率	22.0%	26.5%	36.3%	42.9%	49.2%	42.7%		39.1%

3 回答結果

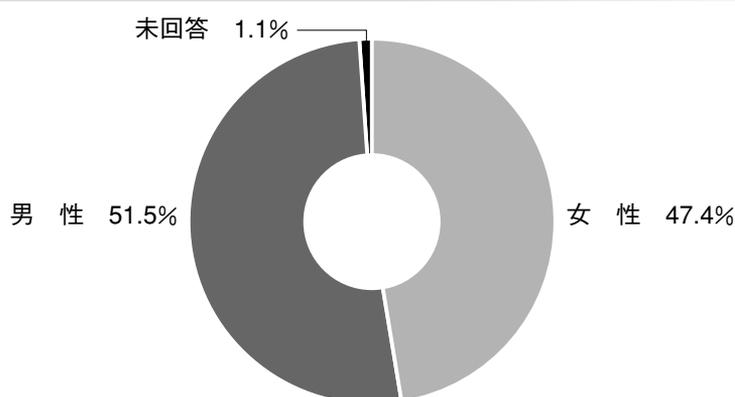
問1 あなたの満年齢は。(平成14年12月1日現在)

20～29歳	18人
30～39歳	22人
40～49歳	37人
50～59歳	57人
60～69歳	60人
70歳以上	76人
未回答	4人
計	274人



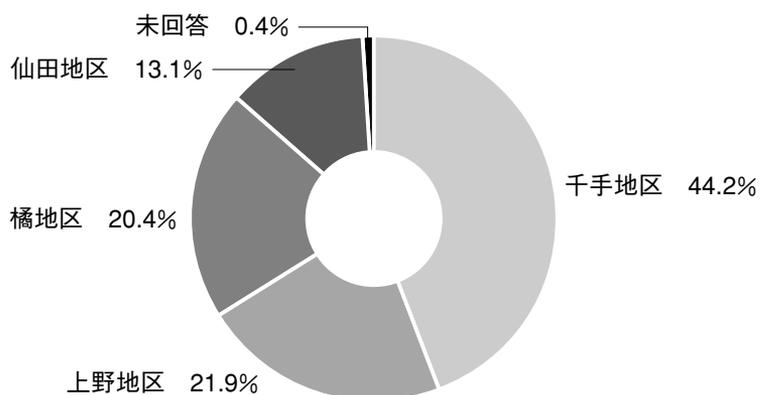
問2 あなたの性別は。

女性	130人
男性	141人
未回答	3人
計	274人



問3 あなたが現在住んでいる地区は。

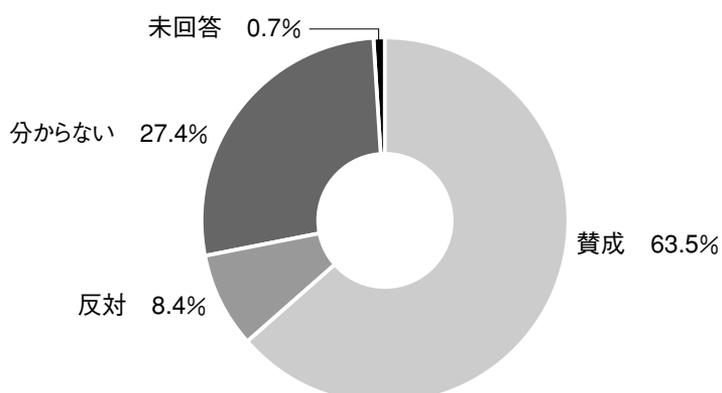
千手地区	121人
上野地区	60人
橘地区	56人
仙田地区	36人
未回答	1人
計	274人



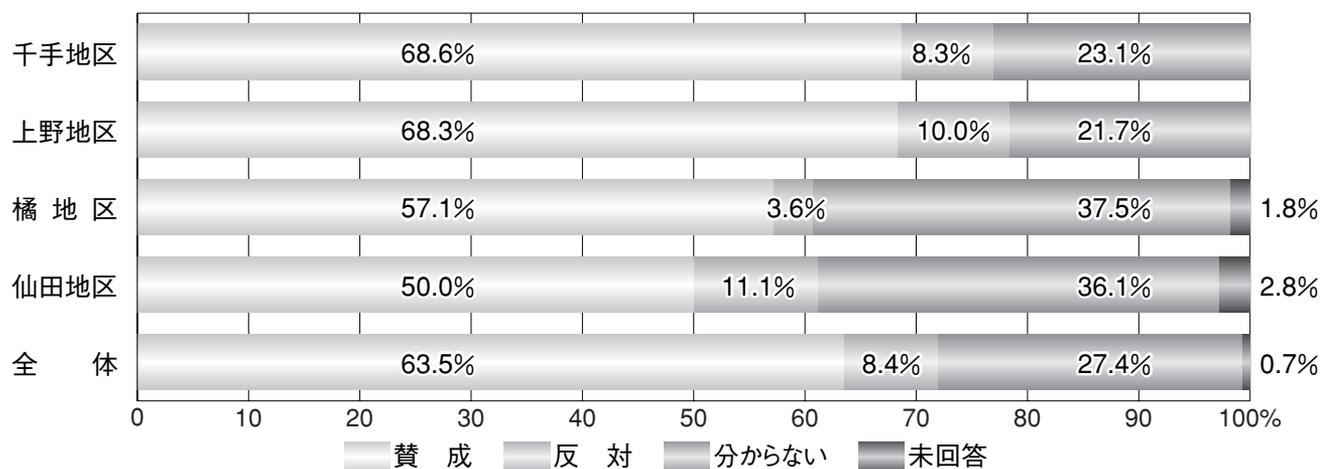
問4 合併任意協議会への参加について賛成ですか反対ですか。

[全体での賛否]

賛成	174人
反対	23人
分からない	75人
未回答	2人
計	274人

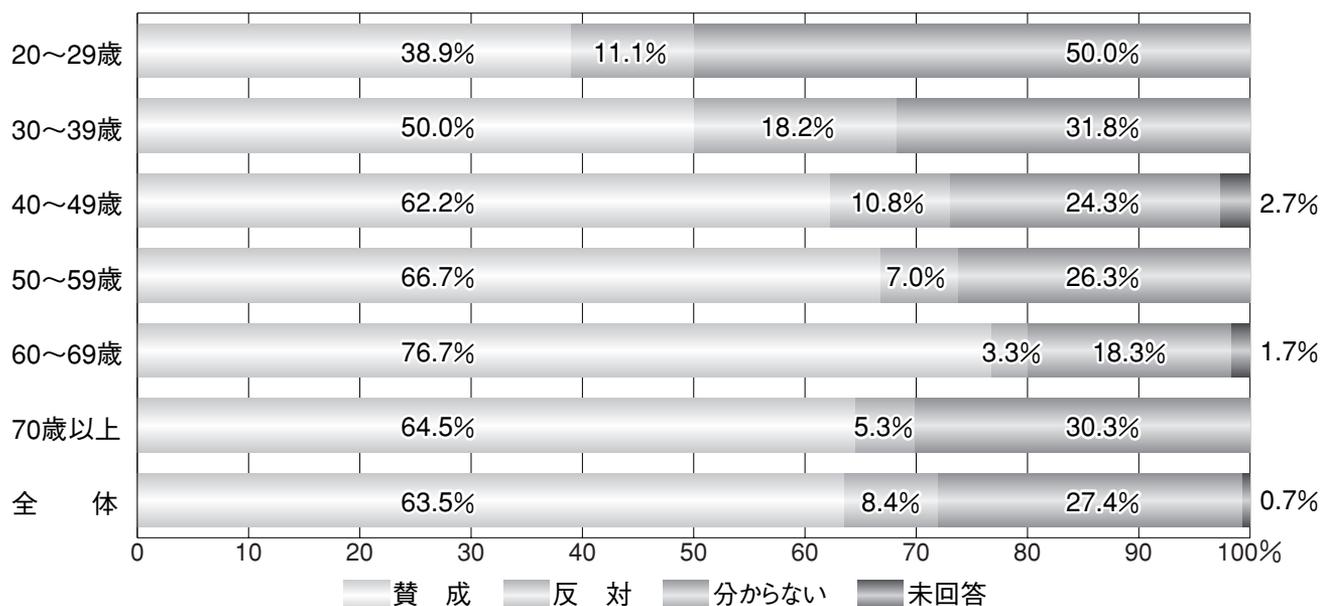


合併任意協議会への参加に対する賛否について [分析1：地区別]



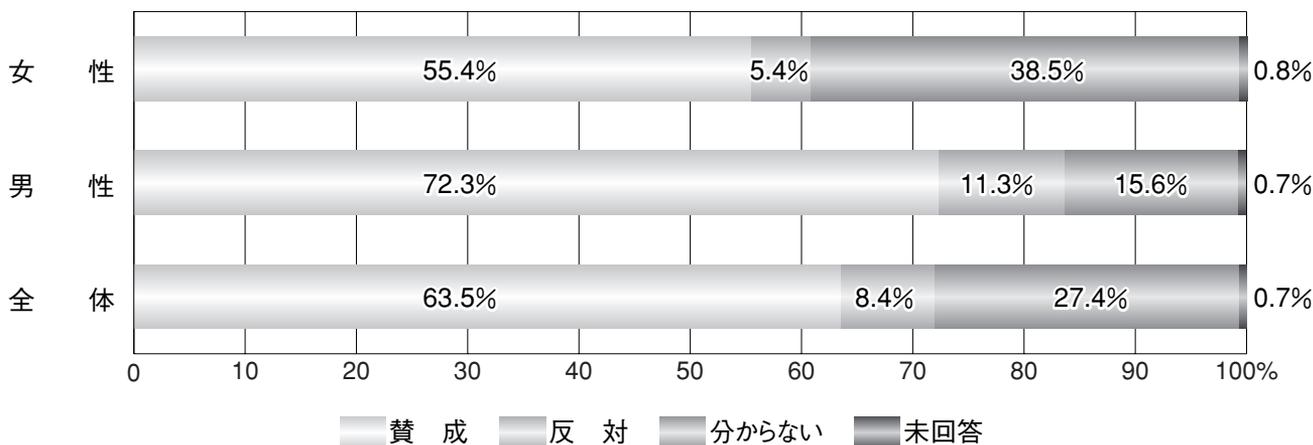
	賛成	反対	分からない	未回答	計
千手地区	83人	10人	28人		121人
上野地区	41人	6人	13人		60人
橘地区	32人	2人	21人	1人	56人
仙田地区	18人	4人	13人	1人	36人
未回答		1人			1人
計	174人	23人	75人	2人	274人

合併任意協議会への参加に対する賛否について [分析2：年代別]



	賛成	反対	分からない	未回答	計
20～29歳	7人	2人	9人		18人
30～39歳	11人	4人	7人		22人
40～49歳	23人	4人	9人	1人	37人
50～59歳	38人	4人	15人		57人
60～69歳	46人	2人	11人	1人	60人
70歳以上	49人	4人	23人		76人
未回答		3人	1人		4人
計	174人	23人	75人	2人	274人

合併任意協議会への参加に対する賛否について [分析3：性別]



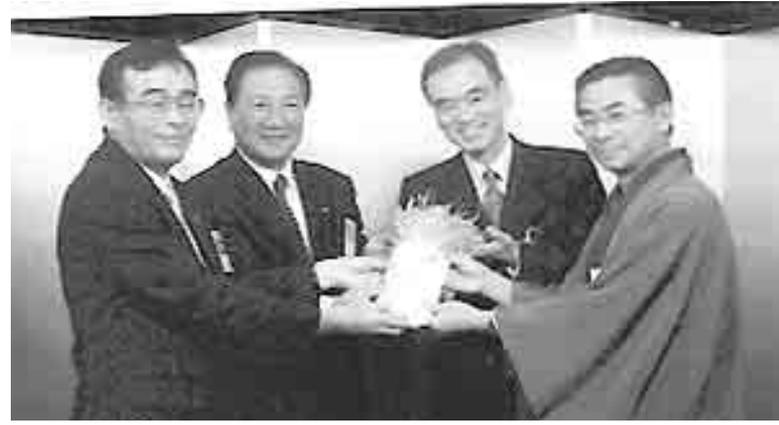
	賛成	反対	分からない	未回答	計
女性	72人	7人	50人	1人	130人
男性	102人	16人	22人	1人	141人
未回答			3人		3人
計	174人	23人	75人	2人	274人

里創プラン通信 番外

2002地球環境米米フォーラム
こめこめ
米米の精神と種もみを山口県へ

昨年十二月六日、東京・国際文化会館において「地球環境米米フォーラム」の「種もみ引渡し式」が行われました。セレモニーの席上、実行委員長の滝沢十日町市長はあいさつの中で、本フォーラムの提唱者で今後のご活躍を期待されながら、十一月二十一日、47歳の若さで御薨去(逝去)された故高円宮憲仁親王殿下を惜しむとともに、出席者全員でご冥福をお祈りしました。

このたびの「種もみ引渡し式」は、フォーラムの四季のプログラムの中で、春・「田植えフェスティバル」、夏・「とんぼ田んぼシンポジウム」、秋・「稲刈りフェスティバ

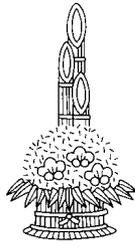


(写真：左から 松林・山口県長門市市長、藤田・山口県油谷町長、北谷・地球環境平和財団会長、滝沢・十日町市長)

ル」に続く最後の行事です。メインとなる種もみ引渡し式のステージ上では、大使館関係者他、約二〇〇人が見守るなか、米米フォーラムの精神とともにミオンなかと前の田んぼで刈り取った「コシヒカリ」の稲穂が、滝沢越後妻有実行委員長の手から次回開催地の山口県、松林北長門実行委員長の手へしっかりと渡され、セレモニーを終えました。

今回の春と秋の数々のイベントをとおして、妻有地方の美しい自然と伝統的な文化を国内外に紹介することができました。また、大使館関係者のホームステイ先での温かな交流は、外交官の皆さんと受け入れ家庭の皆さんの貴重な体験としていつまでも心に残るのではないでしょうか。

第五回の「地球環境米米フォーラム」は山口県北長門実行委員会と地球環境平和財団主催で萩市、長門市、油谷町、日置町、三隅町を会場に開催されます。



二〇〇三(平成十五)年

あけましておめでとうバズバズします

謹賀新年

皆々様の多幸をいより祈念
申しあげます
混沌の時代ですがこの地にしっかりと
足と定めの確かな歩で健康的な
新しき豊か創りに邁進いたします
平成十五年元旦

川西町長 田口直人

謹んで新年の御祝詞を
申しあげます
皆様にはお健やかに初春をお迎えることと
おもちが申しあげます
本年も川西町の建設を目指し力いっぱい
頑張りますを御支援を賜りますようお願い
申し上げます
平成十五年元旦
川西町議会議長
エロ導 正安

ホームアップ 役場 No.20

誰が座る椅子だ？



おやおや、議長席に座る
児童に見守る児童。児童会
の議事の一コマか？ それ
にしては何やら本格的な議
長席。
実はこれは、上野小学校
の政治単元授業「暮らしと
政治を調べよう」で、十二
月十七日に六年生十六人が

田中寛くん「さすがは
議長の椅子、座り心地がい
い。自分の体に合ってる
(笑)」
相崎美耶子さん「雰囲気
いいですね教育長の椅子
は。教育長の仕事？これか
ら調べます」
小川諒兵くん「町長の席
に座った気
分はいいで
すね。町長
になりた
い？そこま
では思っ
ていません
(笑)」と、
和気あいあ
い、楽しい
ひとときを
過ごしまし
た。続いて
議会の本会
議を傍聴し
ましたが、

町議会を見学に来たとき
の様子。
児童たちは、本会議の一
時間前に議場に到着、議長
席や町長、教育長などの席
に代わる代わる座って座り
心地を確かめていました。
感想をひとこと…

見学者の中から将来、こ
の日座った椅子に座る人はい
るのでしょ…

小丸山の新聞屋さん

高原田の「小丸新聞店（渡辺さん）」は、小丸山地名のところに最初の家を構えて営業を始めたので、その地名を採って屋号にした。千手通りの沖立から長福寺へつながる道が交差している近くで、もとは一段高くなっている、小丸山と呼ばれていたところである。

現在の県道を整備するとき、その小丸山の真ん中を堀割のように削り取って道にしたので、昭和初年までは小高いところにまだ何軒かの家が残っていた。

新町新田鎮守様の裏から節黒城へ入っていく道に、ポツンと小高い山が立っている。これも小丸山と呼ばれていて、大昔の市川街道を歩いてきた人たちが、南沢川を渡って登ってきた



新町新田の小丸山

ところで目印になっていた。

二百年ばかり前に豪雨があまり、倒木などがつかえて水が溜まり、大騒ぎしたことがあるという。小丸山でなくて、困った山だと村人たちがいったという話が伝えられている。

寿司のどぼし

千手中央町で先般新築した「寿司のどぼし（星名さん）」は、上野の土橋屋が本家である。土橋屋は、明治初年に下平新田から上野地内の土橋地名に分家し

（どぼし）地名をそのまま継いでいる。

鋳物のかまや

千手山野田の「かまや鮮魚料理店（柳田さん）」は、出身地である故郷の職業を背負った屋号である。

昭和初年の上越鉄道敷設工事で、湯沢をはじめ南魚沼郡一帯に多数の工事人夫が入り込んで賑わった。その人夫たちを相手にするいろいろな商人が入ってきた。

生まれ故郷の岩手県で若いと

おふくろの館 (第二十一回)

上野 上村政基

て旅人相手の休み茶屋を開き、やがて乾物（海産物・魚など）を背負い商いした。

いまは、上野小学校から沢口養豚場の前を通り新町新田に行く旧道沿いで、土居川に架けられた土橋の袂にあった。

明治末年の県道工事が完成したのを見て、大正年代に新道沿いに引越して鮮魚・料理店を開業し、昭和六年に上野の中心部へ移った。

営業の拡大と分家の足どりを合わせて、現在の新築店は五軒目に当たるわけであるが、土橋

肴を揃えたりするようになった。

人夫たちは、柳田商店などとはいわずに、「かまや（窯屋）」と呼んでいたのが、そのまま屋号になってしまった。

上越線工事が終わると千手発電所工事が始まり、人夫たちといっしょに千手へ移って、正式に「かまや」の看板を出した。鉄器など鋳物づくりの窯を屋号にした鮮魚料理店である。

朝日とす朝日屋



同じく山野田に、真ツ黒な壁に「朝日屋（宮さん）」と見事に屋号を白抜きに浮き立たせた家がある。

もとは、与三左衛門と呼ばれる山野田村の草分けであったのだが、道路整備に伴って、明治十三年に現在地へ新築した。

そのときの当主が近郷に知られた壁塗り左官であり、とくに漆喰に煤を混ぜて黒壁を塗り、そこに家紋や文字などを白く浮き彫りさせて仕上げる技術が評判だった。

新築する家の正面に八海山がクッキリと冴えた姿を見せ、そこから朝日が昇ってくるのを屋

号に採ったという。この壁は、古い職人芸を残す貴重な文化遺産である。

上野の上坂（入沢さん）にも、黒左官と呼ばれる人がいて、同じように黒壁塗りの名人であった。火難除けになる土蔵だと評判されていた。

県会議員の当選を断る

明治初年の議員選挙は、届け出るのも投票するのもまことにおろかなものであった。

明治十二年七月に行われた新潟県会議員選挙で、折角の当選を、仕事が忙しいのでとって辞退した人がいる。

中魚沼郡の定数が三人であったところへ、宮野原の島田茂と外丸の津端守真に次いで、新町新田の丸山順一郎が第三位七五八票で当選した。

ところが、郡役所からの当選通知を受けた丸山順一郎は、「長岡内外用達会社会長ニテ事務繁忙、社用ニテ出張多ク当選ニ応ジ難ク」と、折り返し辞退願いを出している。

困った郡役所では、止むを得ず第四位五六四票の中深見村中沢久四郎を繰り上げ当選にした。本人が望んでもいないのに当選してしまうなど、今日では考えようもない時代の選挙である。

発進！ しづみ工房

十二月三日、岩瀬に農産物などを加工する施設「しづみ工房」がオープンしました。

この施設は、県（魚沼農政事務所所管）の「地域食料活用促進事業」の採択・助成を受けて整備したもので、倉庫（金子澄男さん所有）の一角につけもの加工施設や厨房設備が整えられ



天気も笑顔も晴れやかなテープカット

ました。

工房を運営する妻有郷食の研究会代表の金子ヒロ子さん（岩瀬）は、竣工セレモニーのあいさつの中で「行政の支援を受けて、ずっと前からお願いだった加工場ができました。メンバーの年齢も上がってきましたが、みんなで力を合わせていいものを作っていきます」と、決意を述べました。

来賓としてあいさつした田口町長は「成功するまでやり続けてほしい」と激励し、中魚沼農業改良普及センターの池増次長も「管内で最も早い動きで、他の刺激になる」と活動への期待を寄せていました。

最後にあいさつした南雲ハル工さん（中仙田）は、「国税を納めるくらいに頑張る」と力強く宣言し、集まった人たちから喝采を浴びていました。

草履づくりはにぎやかに

12月9日、仙田体験交流館で「わら細工体験」が行われました。

参加したのは、新潟市の女性を中心とする十二人のグループで、自分の手と足を使っての草履作りに挑戦しました。

講師の小川利芳さん（赤谷）、小川二三さん（赤谷）から手ほどきを受けながらの作業でしたが、新潟市から参加した貝沢イシ子さんは「なかなか思うようにいかなーい。縄ないができないと何にもできないんですね」と、基本の大切さを改めて実感していたようです。

そのうちに、「足がつった！」「突然、縄がなえた！」「形がヒョウタンみたいになった」とあちこちから悲喜こもごもの声が聞こえ、にぎやかな体験交流の場となっていました。



まず「縄ない」から始めます



雪で作ったケーキ？

12月24日の夕方、役場南側の駐車場にちびっ子たちが集合しました。

ケーキをもらうためです。

これは、商工会千手支部（小林重則支部長）が、クリスマスイベントの一環として地区の保育園児たちにケーキをプレゼントしているもので、今年で3回目になります。

保育園帰りに三々五々と集まった子どもたちは、用意されたケーキを受け取って早速ほおばりました。中には、机の上一面に並べられた真っ白なケーキを見て、「雪でつくったの？」と不思議そうに眺める子どももいました。

ふだんは静かな役場の駐車場も、この日は、子どもたちの歓声がこだまする活気ある広場となっていました。

NHK生放送で全国に情報発信！ 元旦卓球大会

今年で18回を数える「川西オープン元旦卓球大会」が、元旦、総合体育館を会場に開催されました。

これは、川西町卓球協会（渡辺一治郎会長）の主催で毎年開かれているもので、元旦の恒例行事として定着し、今年は、関東や県内各地から過去最高の207人が参加しました。また、この日はNHKラジオ第一放送「あなたの心に響きたい」の生中継も行われ、NHK新潟放送局の沢田浩次郎アナウンサーによる軽妙な語りによって、この大会が全国に情報発信されました。

インタビューを受けた、最高齢参加者で全日本卓球選手権大会高齢者の部で二位の実績を持つ吉田昭夫さん（76・頸城村）は、「試合よりずっと緊張しました」と生放送出演の感想を語ってくれました。

この大会には高校総体や国体出場選手も参加するため、地元選手が上位に進出する機会は少なくなっています。



緊張の一瞬、ラジオ生中継

ますが、「全日本チャンピオンと対戦できるなんて、この大会だからこそ可能なこと」（根津高明さん／上野）と、オー



公式戦さながらの熱戦

ブン大会ならではの経験ができることも魅力になっているようです。

渡辺会長は、「今回の情報発信をきっかけに、もっと幅広い地域からの参加を呼びかけていきたい」と、早くも次の目標に向け、目を輝かせていました。

なお、川西町出身の上位成績の選手は次のとおりです。（敬称略）

【一般女子】

優勝 須藤明美（新潟大学）
2位 村越藍子（新潟青陵高校）

【カデット男子】

2位 小川達也（川西中学校）

【ラージボール男子】

2位 渡辺一治郎（川西クラブ）

だんだんどーも！ ⑰

寒九のトロロの巻

「農家レストランを開くのが夢です」。寒九のトロロ食の研究会代表の金子ヒロ子さん（62・岩瀬）は、会の存在目的をはっきりと語ります。

「寒九のトロロ」とは、「寒に入って九日目

（一月半ば）にトロロを食べると病気になる」という仙田地区の言い伝えで、これをキーワードに新しい食文化を創ってというと発足したのが同会。

「平成八年に発足しました。会員は十

五人です。これまで、自然薯栽培をしながらトロロ御膳、粉豆腐、芋煮などの食を提供する活動をしてきました。これからも、自然薯にこだわった食文化の発信をしていきます」と、意欲あふれることばが続きます。



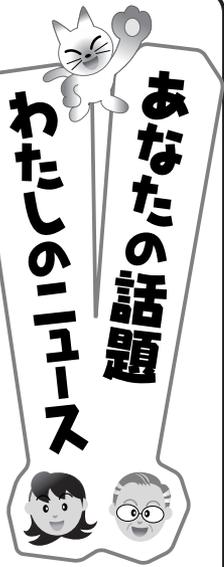
「生き甲斐です」（南雲ハルエさん／中仙田）

「楽しいから続けられます。それなりのお金もいただけますしね（笑）」（南雲澄江さん／中仙田）

「トロロ汁が私のイチオシです」（南雲光江さん／中仙田）と、メンバーの方々のやる気も満々のようです。

プロの料理人として長く腕を振るい、今年から同会に参加している中村昌弘さん（岩瀬）は、「みんな俺よか上手だて。俺らパートみてなもんそ（笑）」と天ぶらを揚げながら目を細めます。

この日は、新しいメニューづくりにチャレンジして、試食者から感想を求め、いわば「求評会」。「厳しい意見をください」。このことばに、夢の実現が近いと感じます。



おいしかった！ 切り絵教室

《丸山百合子さん(みのり団地) 発》

昨年から大好評の切り絵教室(上野地区子どもを育てる会主催)に参加しました。

また来年も、親子で参加したいと思えます。

天皇誕生日の十二月二十三日、上野コミュニティセンターに集まった人は七〇人くらいで、保育園児から小学生、一般の人と参加者の層も幅広かったようです。

切り絵の種類もたくさんあって、どれを選ぶか、どの子も真剣なもの。

小学校低学年には雪だるまが人気。高学年は宝船や大黒様といった難しいものにも挑戦していました。



やはりはじめて三〇分が限度かな、と思って見ていましたが、子どもたちは飽きる様子もなく最後まで切り抜き、力作ができました。

最後にみんなでおいしくおしゃべりをいただき、子どもたちも大人も、とてもいい体験ができたことをうれしく思います。

川西町保健医療福祉計画と 第二期川西町介護保険計画 (第二報)

〈計画の趣旨と理念〉

二十一世紀における国の社会保障制度を見据えて、豊かな地域社会づくりを推進するため、社会的に弱い立場の人たちが安心して社会生活が営めるよう、質の高い保健医療福祉サービスを気軽に安心して受けられる社会を目指すものです。

計画は、平成十五年度から平成十九年度までの五年間について町の保健福祉介護のあり方や保健事業の進め方、健康づくりの方向を示すものです。これは、国の計画「健康日本21」と新潟県の計画「健康にいがた21」を基に、町民が自らの計画として、豪雪や高齢社会、少子化、過疎等自然と社会環境を踏まえながらつくりあげる計画です。

この計画は、川西町総合開発計画をはじめ、法律により規定された各種保健医療福祉計画に整合しているもので、町民の健康増進と福祉サービスの基本を成すものです。

〈保健〉

健康な社会生活を送るため、「自分の健康は自分で守り、育てる」気運を盛り上げ、健康づくりの事業内容と推進方向を示し、生きる喜びを感じながら健康寿命を伸ばす社会づくりを目指しています。

〈医療・福祉〉

医療は、医療機関の役割分担と、救急医療の高度化と充実を図る方針としています。

福祉施策充実には、障

害者や高齢者、乳幼児等社会的弱者の支援施策を重点に、福祉事業の展開と活動方針、ボランティア活動のあり方など相互扶助精神の育成を掲げ、将来社会を視野に入れた福祉事業を進め《心豊かな福祉の里づくり》に努めます。

〈介護〉

平成十五年度から三年間における介護保険サービスの目標量の設定と第一号保険者の介護保険料及び介護保険の運営方針を明らかにし、住民ニーズに添う

介護福祉と事業運営を明示します。

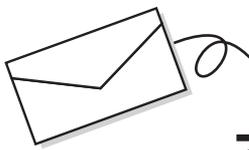
必要な介護をいつでもどこでも安心して受けられる体制づくりと、寝たきり予防事業を積極的に推進することに併せ、町独自で在宅介護サービスの利用者負担を軽減する制度を設定するなど、事業の見直しも図られています。

このたびの計画は、町民の健康福祉介護事業の羅針盤となるもので、具体的に十五年度予算にも反映されてスタートします。

事業実施に当たりましては、町民各位のご支援とご協力をお願い申し上げます。



お寄せください あなたの 意見・提案・質問



い。(学校では「あいさつ」を
教えてないのか)

〈みなさんからもあなた
かい声かけを〉

A. ①さわやかな「あいさつ」
を交わし合うことは、心の教育
の原点でもあります。

このため、町内各学校では校
内に「あいさつ通り」を設けた
り、「あいさつ週間」や月間を
とり入れたり、また児童会など
の自主的な「あいさつ運動」を
展開するなど、様々な工夫をこ
らしながらあいさつの大切さを
教えています。

時おり地域の方から、子ども
たちのあいさつがさわやかで、
とても気持ちよかったというお
ほめの言葉をいただきます。そ
んな時には全校朝会などで発表
し、ほめたたえています。こう
したみなさんの声が子供たちの
一層の励みにもなっています。

ところで、子どもたちにあい
さつの大切さを教えることは家
庭における大事なしつけの一つ
といえます。あわせて、地域の
みなさんからの温かい声かけも
大切です。子どもからあいさつ
が返ってこなかったら、どうぞ
「あいさつの大切さ」をやさし
く教え、論じてくださるようお
願いたします。

「あいさつ」を 教えないのはなぜ?

(40歳・女性)

Q. ①今の小学生は、大人が
あいさつしてもあいさつしな

音の出る信号と リサイクルセンター がほしい

Q. ②渡る時、音の出る信号
機にしてほしい。(信号が見え
にくい人、高齢者のために)

③ごみとして出る大きな物
(タンス等) や服などを安く売
るようなリサイクルセンターが
ほしい。

働きかけをします

A. ②これからの季節は、お
年寄りや目の不自由な方だけ
なく、寒さや風雪を防ぐために
防寒着の帽子を深くかぶった
り、雪道に気を取られて信号機
に目が届かない恐れもありま
す。

ご提案いただきました「音の
出る信号機」の設置は、交通事
故防止には効果的なものと考え
ています。しかし、これら(交
通安全標識や信号機など)の設
置は、すべて県の公安委員会が
設置しているものです。

町では、標識や信号機の必要
なところを調査し、公安当局に
要望していますが、今後は、ご
提案いただいた「音の出る信号
機」も含めて要望したいと思っ
ています。

今ある機能も活用して ください

③家庭にあるものを大切に使
用し、資源の有効利用を図るこ
とは、ごみの減量化と環境にや
さしい生活スタイルを実現する
ために、大変重要なことです。

川西町では、各種団体主催に
よる不要品バザー、フリーマー
ケット等が、不定期ながら年に
数回開催されています。

常設のリサイクルショップは、
十日町市では十日町橋の近郊
に、小千谷市では高速道路の小
千谷インター近郊にありますの
で、ご活用ください。また、自
宅からパソコンでインターネッ

トオークションを利用すること
も、一つの手段と考えます。
町では、今後もリサイクルを
促進し、資源が循環して利用さ
れる社会を築いていきたいと思
っています。



いつも盛況なフリーマーケット(総合センター)

◆議会報告◆

十二月十七日に始まった第六
回川西町議会定例会は、十九日
に全日程を終え、閉会しました。
十七日は、諸般の報告や、八
人による町政に対する一般質問
が行われたあと、WTO農業交
渉に関する請願が採択されまし
た。

十九日は、「川西町議会議員
の報酬及び費用弁償等に関する
条例の一部を改正する条例」ほ
か三件の条例改正が原案どおり

可決されたあと、「平成十四年
度川西町一般会計補正予算
(第三号)」、「平成十四年度川
西町下水道事業特別会計補正
予算(第三号)」が原案どおり
可決され、「川西町議会議員の
報酬及び費用弁償等に関する
条例の一部を改正する条例」
ほか五件の発議案などが可決
されました。

なお、議会の模様は一月二
十日発行の「議会だより」の
中で詳しく紹介されますので、
ご覧ください。

ご参加ください!!
住民活動の拠点づくりを
考えるワークショップ
(第四回)

一人でも多くの方のご意見をお聞かせいただきたく思います。皆さんのご参加をお待ちしております。

■日時 一月二十一日(火)午後七時～

■場所 総合センター 三階大ホール

■主な内容 これまでの三回のワークショップで積み上げてきた皆さんの意見をまとめた基本計画案の報告を行います。

※県道③小千谷十日町津南線の街路工事に伴い、総合センター入口付近が工事中です。十分ご注意のうえご来場ください。なお、総合センター前の駐車場が利用できない場合には、役場等の駐車場をご利用ください。

**平成十五・十六年度
建設工事入札参加資格
申請を受け付けます**

■受付期間

二月一日～二十八日

■提出書類

①建設工事入札参加資格申請書

(県様式で可)

②営業所一覧表
③経営事項審査結果通知書の写し

④町税の納税証明書・町税務課

⑤消費税の納税証明書(未納のないことの証明:税務署)

■提出・問い合わせ

役場総務課財政係

☎68-3111内線304

教室・講習

**IHクッキングヒーター
体験料理教室**

■期日 ①一月二十八日(火)

②二月五日(水)

■時間 午前十時～午後一時

■内容 ①簡単お酒のおつまみ

②手作りチョコレート

■講師 ①和みのれん会 割烹

なかむら店主ほか ②高橋みどり先生

■ところ 東北電力(株)十日町営業所クッキングスタジオ「えぶろん」

■募集定員 十八人(申込者多数の場合抽選)

■参加費 ①五〇〇円

②六〇〇円

■持ち物 エプロン

■申込締切

①一月二十二日(水)

②一月二十九日(水)

■申し込み 東北電力(株)十日町

営業所お客さまセンター ☎5

2-31107



屋外広告物講習会

屋外広告業を営む方は、屋外広告物講習会修了者等の設置が必要です。県では、次のとおり講習会を開催しますので、受講希望者は申し込みください。

■日時 二月六日(木)

■場所 新潟県庁警察庁舎四階

「大会議室」

■受講手数料 三五〇〇円(県収入証紙)

■テキスト代 四八九三元

■申込手続 所定の受講申込書

(役場窓口備付)により県庁都

市政策課宛に申し込みください。

■申込期限 一月二十九日(水)

■問い合わせ・申し込み 県庁

都市政策課 ☎025-285

15511内線3322

15511内線3322

15511内線3322

社会福祉法人あかね会施設長(園長)募集

健康で明るくボランティア精神に富み、施設利用者の方々に深い愛情を持って援助にあたる人を募集します。

- 勤務場所 川西町高原田 特別養護老人ホーム「あかね園」
- 職種・人員 施設長1人
- 受験資格等 平成15年4月1日現在において満57歳から62歳の人で、社会福祉、介護保険関係に従事又はこれと同等以上の能力があり、施設を適切に管理運営する能力がある人
十日町地域広域行政圏域に住所を有し、通勤可能な人(要普通自動車免許)
- 採用条件
- 給与等 社会福祉法人あかね会諸規則による
- 受付期間 平成15年1月10日(金)～2月18日(火) ※当日消印有効
- 提出書類 ①職員採用申込書(社会福祉法人あかね会事務局にあります。郵送可)
②免許・資格を有する証明書の写し
③直近の健康診断結果の写し
- 試験方法等 書類選考及び面接(日程は直接本人に通知)
- 申し込み・問い合わせ先



〒948-0122 中魚沼郡川西町大字上野甲2896-2(知的障害者更生施設「なかまの家」内)
社会福祉法人あかね会事務局 ☎0257-68-4013

募 集



十日町市高等職業 訓練校入校案内

- 募集締切 三月十日(月)
- 受付時間 午前八時半～午後五時
- 募集科目・定員等 (下表参照)

■申込方法 入校申込書に必要な事項を記入・押印し、写真一枚(免許証程度の大きさ)を添付して申し込みください。
※希望者には、入校申込書を郵送します。

■問い合わせ・申し込み
十日町市高等職業訓練校
〒948-1000 十日町市
大字新座甲二八一―一 ☎52
―3803

科目	定員	期間	内容	経費
建築製図科	10人	6か月 (4～9月)	「2級建築士」受験希望者又は設計の基本をマスターしたい方を対象に、設計製図の技能を習得します。	授業料 57,000円 テキスト代 9,500円
コンピュータ科	15人	6か月 (4～9月)	パソコンの初心者を対象に、「Word」「Excel」などの操作方法を中心にパソコンの基本操作を学びます。	授業料 87,000円 テキスト代 8,500円
ワープロ科	8人	4月コース	初心者を対象に、パソコン上でワープロソフトの「Word」を使い、パソコンの基礎知識から編集を学びます。	授業料 18,000円 テキスト代 4,000円
	8人	6月コース		
	8人	9月コース		
表計算科	8人	4月コース	初心者を対象に表計算ソフト「Excel」を使い、表計算・グラフ・データベース操作等を学びます。	授業料 18,000円 テキスト代 5,000円
	8人	6月コース		
	8人	10月コース		
経理事務科	10人	8か月 (4～11月)	簿記の基礎知識から記帳練習など、実務に必要な複式簿記を学びます。	授業料 47,000円 テキスト代 3,000円
測量科	15人	3か月 (5～7月)	レベル・トランシット・平板などの基本操作から、応用測量までを学びます。	授業料 45,000円 テキスト代 2,000円

催 し

第十七回 かわにし雪まつり

三月一日(土)・二日(日)
町総合体育館協特設会場

- 雪像コンテスト
栄えある最優秀賞は、どのグループの手に!?
- 雪まつりイベント
今年も内容盛りだくさんで皆さまをお待ちしております。
- 内容
一日(土) 前夜祭
◎雪上ミニSSL試乗会

そ の 他

第二回 大地の芸術祭企画 発表会を開催

本年夏、いよいよ第二回大地の芸術祭(以下「芸術祭」)が開催されます。七月二十日の開幕を前に、これまでの準備活動の進行状況の報告、及び参加作家・会期中のイベント紹介を中心に、芸術祭全体の概要を発表します。当日は、**平山新潟県知事**をお迎えしての**鼎談**も行われます。

- ◎屋台村
- ◎ステージイベント
- ダンス甲子園、響演「雪太鼓」、雪像コンテスト表彰、大抽選会、雪中大花火

- 二日(日) 本祭
- ◎雪上ミニSSL試乗会
- ◎屋台村
- ◎仮装10人11脚レース
- ◎大道芸人ショー
- ◎雪上ジャンボかるたとり大会
- ※詳細については、一月十日配付の「かわにし雪まつり情報紙No.1」をご覧ください。
- 問い合わせ
かわにし雪まつり実行委員会事務局(役場開発課内)
☎68-3111 内線312

入場無料でどなたも参加できます。この機会にぜひお出かけたいただき、芸術祭への支援をお願いいたします。

- とき
二月一日(土) 午後六時～八時
- ところ
十日町クロス10 大ホール
- 主催
大地の芸術祭・花の道実行委員会
- 事務局 十日町地域広域事務組合企画振興課
☎57-2637



結婚相談員に お気軽にご相談ください！

結婚相談員制度が設けられました。

平成13年4月1日から家庭相談員は不在となっていましたが、今回結婚相談員の方々が決定しましたのでご紹介します。

(敬称略)

地区名	氏名	町内名(住所)	電話番号	備考
千手	小海 貴代美	神社町(川西町大字上新井128-2)	68-3079	
	中村 伊勢男	坪山(川西町大字坪山246-1)	68-2770	農業委員
上野	清水 美代子	上野(川西町大字上野甲1476-1)	68-3108	町議会議員
	小林 可生	元町(川西町大字上野甲2838-6)	68-2763	農業委員
橘	小幡 千恵子	仁田(川西町大字仁田2553-3)	68-3740	
	野沢 正夫	野口(川西町大字野口12-3)	68-2671	農業委員
仙田	小林 良子	中仙田(川西町大字中仙田甲3069-3)	69-2822	
	田村 俊秀	赤谷(川西町大字赤谷癸2649-1)	69-2332	農業委員
事務局	川西町農業委員会事務局(川西町役場内)		68-3111	内線335

独身の皆様、ご家族の方々、結婚についての心配事や不安なこと、その他何でも結構ですのでお気軽にご相談ください。(地区ごとに相談員がおりますが、どこの地区の相談員にご相談されても結構です)

また、ご相談いただいたことを口外するような心配はありませんのでご安心ください。

なお、今後は、結婚相談日や座談会の開催を予定しております。日程等は、町の広報・お知らせ版にて、その都度お知らせする予定です。

相談員一同、わずかばかりでも皆様方のお力になればと考えておりますので、ぜひ、お気軽にご相談ください。



はたちの献血 キャンペーン実施中

新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く献血思想の普及を図るために、一月一日から二月二十八日まで全国一斉に「はたちの献血」キャンペーンがおこなわれています。

またこれは、成分献血や四〇〇ml献血への理解と協力を求めることにより、冬季における献血者および安全な血液の確保を図ることも目的にしています。

血液製剤の多くは高齢者の医療に使われています。また、献血者は二〇歳代を中心に五〇歳未満の若い世代が大半を占めています。今後、医療技術の進歩や少子高齢化により、必要とされる血液が不足されることが予想されています。

血液は人工的に作る事ができません。皆様の善意で献血にご協力をお願いします。

県内では、献血バスが巡回しているほか、次の三か所の献血ルームで毎日受付けています。

- ・長岡きたまち献血ルーム
- ・東堀献血ルーム
- ・献血ルームばんだい

あなたの健康な血液が貴い生命を支えています。



町で実施する献血の予定は次のとおりです。

実施日 二月二十八日(金)
場所 保健センター
受付時間 午前九時半～十一時半

献血方法 全血
午後一時～三時

冬は献血者数が減少します。大勢の方のご協力をお願いします。

問い合わせ先

保健課健康推進係

善意

(敬称略)

福祉に
高橋 寅治 (室島) 十万円

齋 喜 彩
香 織 正人 室島
佐藤 瀬斗 宏 駿子 発電所通り東

高砂—ご円満に

滋野 真二 野口
滋野 香織 野口

(12月1日~31日届け出順)

年毎に数の減りゆく年賀状
八王子市 松浦 サク
家中を湯気一杯に餅掲げる
江口みゆき
橙の葉の青々と鏡餅
小白倉 江口みゆき
雪道をいたわられつ、初詣
野口 村越 由喜
橙をみかんに代えぬ鏡餅
霜条 星名 星光
自転車に積まれ売らるる福だるま
新総代宮の掃初これよりは
霜条 星名 星光
輪飾を車に添えて感謝かな
野口 村越 由喜
新総代宮の掃初これよりは

寄せ植えの菴円かに福寿草
岩瀬 登坂伊智子
手習の切絵めでたき宝船
凛として雪の小径の地蔵かな
足立区 涌井ハル子
路地裏の猫と遊びし三ヶ日
喪に服し山の宿にて初湯かな
霜条 蔵品ハツエ
カマキリの巢にぎやかな雪談義
猛吹雪中を静かに霊柩車
野口 高橋 波京
着膨れて無職の日々に漬かりおり

昇天—ごめい福を祈る

半間 康通 35 (本人) 東善寺
樋口 正信 71 (本人) 中仙田
齊木 三良 91 (本人) 小脇
小林 三良 87 (本人) 中仙田
星名 操 86 (徳二) 沖立

うぶ声—おすこやかに

小林 未来 一夫 高原田
清水 生成 憲昭 霜条
高橋 恵大 知恵子 高原田



かわにし俳壇

高崎正風選

老松の支柱しつかと冬に入る
引き絞る雪吊の縄美しく
平和なる拝賀の列の人となり
練馬区 須藤 遊人
山の雪障子を開けて眺めけり
山を出る水のはひや冬の川
雨つづく今年の秋の日記かな
元町 田畑 吉治
来春の肥料の落葉集めけり
孫と子に晴着を買いぬ年の暮れ

犬ふぐり見つけて足を止めにけり
上町 高橋 願似
ストーブと酒を相手に更ける夜
志木市 山田 徳治
久々の孫も来たりて初詣
雪の夜の鍋物囲む笑顔かな
田中町 石澤 澄代
手返しの上手さにはづみ餅を搗く
諸判の絵もある孫の賀状かな
山野田 中條 石平

寸評

正風

・老松の—樹勢も大分弱ってきた松のために、雪に備えて支えを頑丈にしてある—というのである。いたわり、大切にしている見事な松が想像される

休日救急医

1月13日 石川 医院
(津南町上郷宮野原)
☎ 66-2061
" 上村 病院
(中里村田沢)
☎ 63-2111
19日 川西町国保診療所
(川西町高原田)
☎ 68-2034
26日 山口 医院
(十日町市袋町中)
☎ 52-2174
2月2日 大熊内科 医院
(十日町市山本町1)
☎ 52-7066
" 中条 病院
(十日町市北原)
☎ 57-3018
9日 山口 医院
(十日町市下条中央)
☎ 55-2003
11日 大島 医院
(十日町市川原町)
☎ 52-2957

■表紙の写真

川西オープン元旦卓球大会に参加したみなさんです。

会場の寒さもなんのその、この日の天気と同じ晴れやかな表情が、大会をあったかい雰囲気包んでいました。

???クイズです???

「川西」の名の付く自治体は、全国に4つあります。

- ① 4つの県名は?
- ② そのうち、市があるのは?
- ③ ダリアで有名なところは?
- ④ 国指定史跡「島の山古墳」があるところは?

<ヒント>

昨年分の「広報かわにし」を熟読していただくとわかります。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

全問正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り… 1月24日(金)

小さな展覧会

168

〈仙田小学校〉

第33回県ジュニア美術展覧会
〈優秀賞〉



▶ 「佐渡でのさかなつり」
6年生 増田貴大くん



第33回県ジュニア美術展覧会
〈奨励賞〉



▶ 「初めての『カキ』とり」
6年生 齋喜つぐみさん



▶ 「ほくのひみつき」
4年生 登坂大地くん



▶ 右「かしわ大福ん」
5年生 中條貴志くん
左「ブルソウくん」
6年生 登坂拓矢くん



▶ 「小さな宇宙」
3年生 小林圭介くん



▶ 「みんなで作ったクリスマスツリー」
1・2年生 共同制作

(2月号は川西中学校です)

◆ 暮らしのこぼれ ◆

わらが見直されてきている。便利なものが出回るにつれて姿を消していったわら製品は、民芸品や装飾品として出回ってはいたが、「自分で作る」ということはほとんどなかった。しかし、ここに来て、「自然の流れに沿って生きよう」「自分の手で作ろう」という気運から、わら細工を学ぼうという動きが生まれてきている。そして、そこに参加する人はほとんどが都会の女性で、意外に？若い女性も多い。



大事なことは、子どもたちに体験学習を「させる」のとは違う、「自ら技を学ぶ」という姿勢だ。こうした流れが地元にも波及するのかがどうか見守りたい。本物の技を伝えられる人たちは、一握りになりつつある。④

本紙は再生紙を使用しています。



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL0257-68-3111 FAX0257-68-3828
発行・編集 川西町役場総務課 E-Mail:kawanisi@mail.tiara.or.jp (毎月10日発行)
URL http://www.town.kawanishi.niigata.jp/

広報かわにし 15. 1.10